

平成 26 年度 金光八尾中学校・高等学校 学校評価報告書

1. めざす学校像

本校では開校以来、『人はみな神の氏子である』という金光教祖の広大かつ自然な教えに基づき、すべての人に与えられている個性を生かす教育の場を願う」という建学の精神に基づき、教育方針として「確かな学力と豊かな情操」を、教育理念として「人間平等の教育」「個性尊重の教育」「心を育てる教育」をそれぞれ掲げ、真に社会に役立つ人間の育成に努めている。

1. 人間平等の教育＝人間尊重・人間平等の精神を基に、情操豊かで、確かな学力を培う。
2. 個性尊重の教育＝個性は他の人との比較ではなく、その人の内面にある素晴らしいものこそが個性であるとして、一人ひとりをもつ個性、特性を最大限伸ばす。
3. 心を育てる教育＝人は、お互いが助け合い、支え合って生きていることを認識し、相手を思いやる心、感謝の気持ちをもって他と接することができる心を育てる。

2. 中期的目標

「全ての生徒を伸ばす、伸びる生徒はもっと伸ばす」を目標に、生徒には「来て良かった」、保護者には「行かせて良かった」、学校や塾の先生方には、「勤めて良かった」と評価してもらえる教育を目指している。

(1) 学校運営

- ①教職員の連携
- ②安全対策
- ③設定目標自己診断の実施

(2) 教育実践の充実

- ①教科指導
 - ・公開研究授業の実施
 - ・授業方法・指導内容の工夫改善
 - ・教科会等での自主研修の推進
 - ・中学・高校が連動した指導
- ②生徒指導
 - ・挨拶運動の推進
 - ・基本的な生活習慣の確立
 - ・問題事象のない学校
- ③進路指導
 - ・進路学習の充実

<ul style="list-style-type: none"> ・進路データの整備 ・転・退学の防止 <p>④人権教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権意識の醸成 ・授業の工夫改善 <p>⑤家庭との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者会等の開催 ・学校通信等の発行とホームページの充実 <p>⑥広報・募集活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の魅力や特色の発信 ・教職員一丸となった広報活動 <p>(3) 意識改革と資質向上</p> <p>①「生徒による授業評価アンケート」の実施</p> <p>②教科会、各部会、学年会の定期開催</p> <p>③企画力の育成</p> <p>(4) 学校行事</p> <p>①生徒会による自主活動の推進</p> <p>②部活動の活性化</p> <p>③自主・自律・自浄の精神の育成</p>
--

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析	学校関係者評価委員会からの意見
<p><「学校教育自己診断」の結果分析></p> <p style="text-align: center;">(平成 27 年 1 月 30 日実施)</p> <p>全体の 34 項目の内、31 項目が 75%以上の肯定的な評価「a」となり、全体的にみると安定した運営となっている。</p> <p>しかし、「6 年一貫教育の推進」や「部活動」などの項目では、肯定的評価が 50%以上 75%未満の「b」となっている。このことから、「6 年一貫教育の推進」では、以前から進めている中学・高校の教員の人事交流を引き続き実施するとともに、各部会や教科会などで、中・高連携した取り組みを一層進め、段差の解消を目指す。</p> <p>「部活動」については施設の問題や放課後の講習等での時間の制約もあるが、活動時間や活動内容を工夫し、充実感のある</p>	<p>学校の雰囲気は穏やかで、円滑に運営されているが、これからの社会を生きるためにも、自ら学び、考え、行動できる生徒の育成を目指してほしい。</p> <p>部活動については、放課後講習等への参加で活動が十分できない場合もあるが、部員が多いと活気も出るので入部率の向上にも尽力願いたい。</p> <p>6 年間の教育の成果として、大学進学実績も出ていることから、今後も指導をよろしく願いたい。また、同じ校舎内にある中学と高校がスムーズにつながっていないように思われ、</p>

<p>部活動となるよう改善に努めていく。</p> <p>さらに、肯定的評価が75%以上の「a」であっても、質の高い教育内容が求められていることから、教職員一人ひとりが高い理想を求め日々の教育を進めていくよう引き続き取り組んでいく。</p>	<p>連携に努めてほしい。</p> <p>今後も学校と学校評価委員との間で、教育内容の向上を目指すため、幅広く意見交換をしていきたい。</p>
---	---

3. 本年度取り組み内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
学校運営	ア、教職員間の連携	ア、生徒や保護者を取り巻く状況について教職員間の報告・連絡・相談を徹底し、組織力の向上を図ることで問題行動等の未然防止に努める。	ア、中学部会・高校各学年会を週一回、定例開催する。	ア、週一回の定例開催を実施し、情報の共有や連携が進んだ。今後も引き続き実施する。
	イ、安全対策	イ、警察署・消防署等から外部講師を招き、全生徒を対象に交通安全指導・防災訓練を実施する。	イ、交通安全指導・防災訓練（避難訓練）を年1回以上実施する	イ、交通安全指導9/30、避難訓練9/1に実施。今後も引き続き実施する。
	ウ、設定目標自己診断の実施	ウ、PDCAシステムに基づく「設定目標自己診断」を実施し、教職員が意欲を持って学校改革に取り組むようにする。	ウ、設定した目標について、校長等による教職員全員のヒアリングを年1回以上実施する。	ウ、教職員各自が設定した課題について、校長が全教職員と1学期に意見交換をした。次年度以降も実施する。
教育実践の充実	<p><教科指導></p> <p>ア、公開研究授業の実施</p> <p>イ、授業方法・指導内容の工夫改善</p> <p>ウ、教科会等での自主研修の推進</p>	<p>ア、教員の授業力や指導力の向上のため、定期的に公開研究授業を実施する。</p> <p>イ、生徒の所属コースに合わせた授業づくりのため、授業の工夫改善に努める。</p> <p>ウ、各教科等で設定した研究テーマについて研修・交流し、指導力の向上を図る</p>	<p>ア、中学・高校別に教科を指定して研究授業を実施、年に一度は外部講師を招聘し指導を受ける。</p> <p>イ、生徒の授業に対する満足度評価が75%以上となる。</p> <p>ウ、教科会で年度当初に設定した研究テーマについての協議を1回以上実施する。</p>	<p>ア、10人が研究授業を実施し、12月に外部講師を招いて研究授業をした。来年度も引き続き実施する。</p> <p>イ、8割の生徒が授業に満足している。今後も引き続き工夫改善に努める。</p> <p>ウ、研修テーマ「思考力アップ」について各教科会で報告会を実施した。今後も引き続き実施していく。</p>

教 育	エ、中学・高校が連動した指導	エ、中学・高校間における教科指導・生徒指導面で段差のない指導に努める。	エ、各教科でカリキュラムの連続性等を協議、生徒指導面では中学・高校連絡会を実施する。	エ、学期に1度以上の部会・教科会等を実施し協議を深めた。今後も引き続き中・高の連携を深めていく。
	<生徒指導> ア、挨拶運動の推進	ア、生徒会・部活動等の活動を通して、挨拶の習慣化を目指し「100%挨拶がこだまする学校」づくりに努める。	ア、生徒会を中心とした早朝挨拶運動を実施し、生徒の9割以上が挨拶していると実感できる状況にする。	ア、挨拶推進週間を決め、挨拶運動を展開した。始業・終業時に挨拶を交わす生徒が増えてきた。来客者からもよく挨拶できる学校と評価されてきた。今後も引き続き挨拶運動を実施する。
実 践	イ、基本的な生活習慣の確立	イ、基本的な生活習慣の確立を目指し、定期的に風紀指導等を実施し、校則違反者の減少、遅刻者の減少に努める。	イ、毎月定期的に風紀検査を実施し、違反者が全校生徒の10%以下にする。また、一日の遅刻者を全校生徒の2%以下にする	イ、毎月風紀検査を実施した。違反者は平均10%未満で、頭髪が伸びている程度の違反で意図的なものはほとんど見られなかった。また、一日の遅刻者は平均2%未満であった。 日頃の指導を含め、今後も引き続き取り組んでいく。
	ウ、問題事象のない学校	ウ、教員と生徒との望ましい人間関係の構築を通して、問題事象の減少に努める。	ウ、生徒との信頼関係構築のため、学期ごとに学級での生徒懇談を実施する。	ウ、各学級での日々の声かけとともに、学期ごとの生徒懇談を実施した。今後も引き続き取り組んでいく。
充 実	<進路指導> ア、進路学習の充実	ア、生徒一人ひとりの個性を尊重し、将来を見据えた進路希望の実現のための指導を行う。	ア、進路 LHR の資料作成をする。各学年で外部指導者を活用し、入試システム・進路状況等について研修する。	ア、進路 LHR で進路資料を活用して指導した。各学年とも外部講師から進路状況や入試状況についての講話を聴いた。次年度も引き続き取り組みを進めていく。
	イ、進路データの整備	イ、進路データを整備し、円滑な進路指導を目指す。	イ、新システムにより進路データを整備し、進路指導での円滑な活用に努める。進学率90%以上を確保する。	イ、新統合システムが稼働し、進路指導の環境が整ってきた。今後も引き続きデータを活用し進路指導に生かしていく。進学率91%。
	ウ、転・退学の	ウ、保護者と連携し、入学か	ウ、生徒との信頼関係を構	ウ、転・退学率は1.7%であつ

教 育 実 践 の 充 実	<p>防止</p> <p><人権教育></p> <p>ア、人権意識の醸成</p> <p>イ、授業の工夫改善</p> <p><家庭との連携></p> <p>ア、保護者会等の開催</p> <p>イ、学校通信等の発行とホームページの充実</p>	<p>ら卒業まで生徒一人ひとりに寄り添った指導の徹底に努める。</p> <p>ア、「いじめ防止基本方針」に基づき、「いじめ」のない学校づくりに努める。</p> <p>イ、生徒とともに考える学習形態・参加型学習等について研究・実践する。</p> <p>ア、各種説明会、保護者会等を有効活用し、保護者との連携を図る。</p> <p>イ、金光八尾新聞や中学新聞等の定期発行やホームページを活用した学校情報の積極的な発信に努める。</p>	<p>築し、転・退学率を2%未満にする。</p> <p>ア、いじめゼロをめざす。</p> <p>イ、人権教育推進委員会を月1回開催し、指導方法・指導内容を研究・実践していく。</p> <p>ア、保護者会を各学年とも年間2回以上実施する</p> <p>イ、金光八尾新聞(年2回)・中学新聞(毎月)・保健便り(毎月)の定期発行と、ホームページのトピックス等で学校の最新情報を提供する。修学旅行やスキー研修等の学校行事は現地からも発信する。</p>	<p>た。次年度も保護者と連携し、生徒一人ひとりに寄り添った指導を進める。</p> <p>ア、いじめは0件であった。今後も、教育相談や家庭訪問等を大切にして対応していく。</p> <p>イ、委員会を毎月定例で開催し、資料や指導方法・指導内容について研究し、指導案を作成した。今後も継続した取り組みを進める。</p> <p>ア、中学、高校各学年ともに年間2回以上実施し、保護者との連携が進んだ。今後も引き続き実施する。</p> <p>イ、金光八尾新聞を年2回、中学生新聞・保健便りを毎月発行するとともに、行事毎の情報もホームページで発信することで保護者から好評を得た。今後もさらなる充実を目指し引き続き実施していく。</p>
	<p><広報・募集活動></p> <p>ア、学校の魅力や特色の発信</p> <p>イ、教職員一丸となった広報活動</p>	<p>ア、学校案内・ホームページ等を活用するとともに、学校・塾等を訪問し学校の魅力を発信する</p> <p>イ、入試広報部と中学・高校の教員とが連携し、本校の取り組みや学校生活についての魅力を発信する。</p>	<p>ア、学校の魅力を発信することで、中学(70人)・高校(240人)の定員を確保する。</p> <p>イ、私学展・学校説明会等に教員も参加し、受験生・保護者に本校の魅力を発信をする。</p>	<p>ア、中学70人、高校240人の定員を確保した。今後もよりよい学校案内やホームページを作製することで、定員の確保につなげる。</p> <p>イ、毎回計画的に教員が参加し、受験生・保護者に対し学校生活等について説明をした。今後も同様の取り組みを進めていく。</p>

<p>意識 改革 と 資 質 向 上</p>	<p>ア、「生徒による授業評価アンケート」の実施</p> <p>イ、教科会、各 部会、学年会 の定期開催</p> <p>ウ、企画力の育 成</p>	<p>ア、生徒による授業評価アンケートを実施し、結果を教科会等で検討し、各教員が授業に生かしていく。</p> <p>イ、教科会、各部会、学年会等を定期的に開催し、情報交換等を行う</p> <p>ウ、学校・学年行事等について実施後に意見・改善点を集約し、内容のさらなる充実に努める。</p>	<p>ア、各教員の授業に対する生徒の肯定的評価が80%以上になるようにする。</p> <p>イ、中学部会・高校学年会の毎週開催、教科会・各部会の学期ごとの開催を通して情報の交換を行う。</p> <p>ウ、行事ごとに意見集約を行うとともに、教員の各行事に対する改善意欲が90%以上となるようにする。</p>	<p>ア、80%以上の肯定的評価を獲得した教員は97%であった。今後、全教員が80%以上の肯定的評価を目指すため、80%未満であった教員への指導助言を行う。</p> <p>イ、中学部会・高校学年会を毎週開催するとともに、教科会・各部会を毎学期開催することで、情報交換や意思の疎通が図られた。今後も引き続き取り組みを進めていく。</p> <p>ウ、学校評価において学校行事等に改善意欲があるとする教員が96%であった。今後も行事の意見集約が、改善意欲につながるよう引き続き取り組みを進める。</p>
<p>学 校 行 事</p>	<p>ア、生徒会による自主活動の推進</p> <p>イ、部活動の活性化</p> <p>ウ、自主・自律・自浄の精神の育成</p>	<p>ア、体育大会・文化祭・挨拶運動・奉仕活動等の活動を通して、生徒会や各クラブが主体的に活動できるよう支援する。</p> <p>イ、部活動を通して生徒の自主的な活動を促進する。</p> <p>ウ、特別活動や自主活動を通して生徒の自主・自律の精神を育成する</p>	<p>ア、学校行事等で、生徒の自主的活動に対する肯定的評価が80%以上となる。</p> <p>イ、部活動の入部率が中学で80%以上、高校で50%以上となる。</p> <p>ウ、自主的な活動の肯定的評価が学校評価で80%以上となる。</p>	<p>ア、自主活動の肯定的評価が86%となり、生徒会や各クラブ等で意欲的に取り組んでいる。今後とも活動を支援し、自主活動を促していく。</p> <p>イ、入部率は中学76%、高校48%とやや目標に達しなかった。今後さらに活動内容や活動時間を工夫し、学習と部活の両立ができる環境となるよう努める。</p> <p>ウ、肯定的評価が87%となった。学校行事等において生徒が自主性・自律性をもって活動できるよう今後も引き続き取り組んでいく。</p>